|  |
| --- |
| **平成25年人口動態統計調査結果の概要（大阪府分）**  －　厚生労働省公表資料より　－  大阪府総務部統計課 情報・分析グループ  《 詳細は厚生労働省ホームページに掲載しています。　<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei13/index.html> 》 |

統計トピックス

平成26年９月11日に、平成25年人口動態統計（確定数）の結果が、厚生労働省から公表されました。その中から、大阪府分の概要を紹介します。

**１　人口動態統計調査について**

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されている「人口動態統計調査」は、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により市区町村に届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。市区町村から保健所、都道府県を経由して、厚生労働省でデータをとりまとめています。

**２　結果の概要**

**(1)出生数は減少**

大阪府の平成25年の出生総数は７万2,054人であり、前年（７万3,012人）と比べて958人減少しています。平成10年（９万324人）から、ゆるやかな減少傾向が続いています。

一方、合計特殊出生率（15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの）は平成25年で1.32であり、前年の1.31から微増しています。最も合計特殊出生率が低かった平成15、16年の1.20と比べると、わずかながら改善しています。しかしながら、この数値は、全国平均（1.43）よりも低くなっており、都道府県別では42位（最高：沖縄県1.94、最低：東京都1.13）となります。



**(2)死亡数は増加**

大阪府の平成25年の死亡総数は８万1,864人であり、前年（８万472人）と比べて1,392人増加し、死亡率（人口千人に対する死亡数の割合）は9.4で前年の9.3を上回りました。死亡数、死亡率ともに増加傾向が続いています。



また、死因別では、「悪性新生物」が最も多く、全死亡数に占める割合は31.2％となっています。次いで「心疾患」（15.9％）「肺炎」(10.7％)となっています。死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡しています。



**(3）自然増減数は減少**

大阪府の平成25年の出生数と死亡数の差である自然増減数は -9,805人で、前年の -7,460人より2,345人減少しています。自然増減数は減少傾向にあり、平成22年から自然減の状態が続いています。



**(4)婚姻件数は増加**

大阪府の平成25年の婚姻件数は４万8,596組であり、前年（４万8,114組）と比べて482組増加し、婚姻率（人口千人に対する婚姻数の割合）は、5.6で前年より0.1ポイント増加しています。



また、平均初婚年齢は、夫30.8歳、妻29.4歳となっています。夫・妻ともに平均初婚年齢は上昇傾向が続いています。



**(5)離婚件数は減少**

大阪府の平成25年の離婚件数は１万8,104組であり、前年（１万8,761組）と比べて657組減少しています。離婚率（人口千人に対する離婚数の割合）は、2.08で前年より0.08ポイント減少しています。離婚数、離婚率ともに平成14年の２万4,808組、2.87から減少傾向が続いています。

